

# 平成31年度事業報告書

社会福祉法人せきれい

## 1. 法人・事業所の総括

平成31年度は職員の不足が解消されず彩がワークスあおいの事業所で共に作業を行った。また、相談支援事業所あちーぶの委託が終了しワークスあおいと同じ拠点で運営を行うこととなった。職員確保に繋げるため、ハローワークの求人を引き続き行い、福祉系の大学・専門学校に新卒求人を出し、インターネットでの求人掲載、公用車に求人を掲載し職員確保に努めた。

昨年同様、利用者本位の支援を常に心掛けたサービス提供を行った。また、相談支援事業所では携帯電話による24時間サポート体制を継続し、地域で暮らし障がい児・者及び保護者等の不安軽減に努めた。職員不足のため地域のイベントである夏祭りや運動会・バザーといった行事等の参加が減少したが、障がい者の正しい理解と啓発活動を行い地域との関わりがもてるよう取り組んだ。

資格取得補助制度を1名が活用し、専門的な知識の習得を支援した。社会福祉をめぐる環境の変化の認識及び質の高いサービスを提供できるよう積極的に研修等に参加し、知識・技術の習得を行った。

### 【今年度参加した研修・講演会】

株式会社プロサポート見学（法人内研修）、食品衛生責任者再講習会、愛知県相談支援従事者初任者研修、愛知県障害区分認定調査員研修、岡崎市主催相談支援従事者初任者研修フォローアップ研修、愛知県精神障がい者福祉協会全体研修会、サービス管理者更新研修、防火管理者甲種研修、防火管理者乙種研修、岡崎市成年後見支援センター主催成年後見制度勉強会（1回・2回）、京ヶ峰ふれあいまつり講演会、精神保健福祉普及啓発事業講演会、岡崎市基幹相談支援センター主催研修、愛知県精神障がい者支援の特性と技法を学ぶ研修、地域移行支援に関する研修（委託相談支援事業所会議）

## 2. 理事会・評議員会開催報告

第1回 理事会	5月18日(土)	平成30年度最終補正予算、平成30年度事業報告、平成30年度収支決算、監事監査報告、新役員候補選任、定時評議員会開催日時・場所・議題等の決議、積立金取崩、慶弔規定一部改訂
第1回 定時評議員会	6月8日(土)	平成30年度収支決算、監事監査報告、平成30年度事業報告、新役員選任
第2回 理事会	6月8日(土)	理事長選出の件
臨時 理事会	7月24日(水)	あちーぶ委託契約解消の件、管理者任命
第3回 理事会	7月29日(日)	せきれいの現状について、管理者任免の件、就業規則一部改訂
第4回 理事会	3月1日(日)	平成31年度第一次補正予算、令和2年度事業計画、令和2年度当初予算指導監査報告、評議員候補者の推薦、経理規程一部改訂
第1回 選任・解任委員会	3月18日(水)	評議員の選任

## 3. 監査報告

監事監査 5月13日(木)

## 平成31年度事業報告書

社会福祉施設 ワークスあおい

## 1. 総括

平成31年度は内職と自主製品の2グループでの室内活動を軸に作業を行った。施設外作業の入浴受付業務については昨年に引き続き、彩と合同で取り組んだ。キッチンでは職員減少により製菓の種類を減らすことになったが、製菓作業を継続し、施設運営に努めた。

8月から職員減少に伴いワークスと彩が合流しワークスと一緒に作業を行うようになった。通常は各施設の作業を別々に行っているが、納期の忙しい時にはその枠を超えてフォローし合いながら納品することができた。また、レクリエーションでは今まで1度も1参加したことのないメンバーの参加者が徐々に人増え交流を堪能することができた。

バザーの参加は彩が「せきれい」代表として参加したため販売はなかった。

平成31年度の利用者平均は4.9人で、前年度の6.1人よりもさらに減少した。年度内の退所者6名の内訳は就労移行に1名、他事業所(B型)に4名、生活介護に1名となっている。登録者数は令和2年3月末時点で10名、実利用は9名であった。岡崎市内に新しい就労継続B型が増えたこともあり、見学、体験に至らなかったことから新規利用者が0名であった。

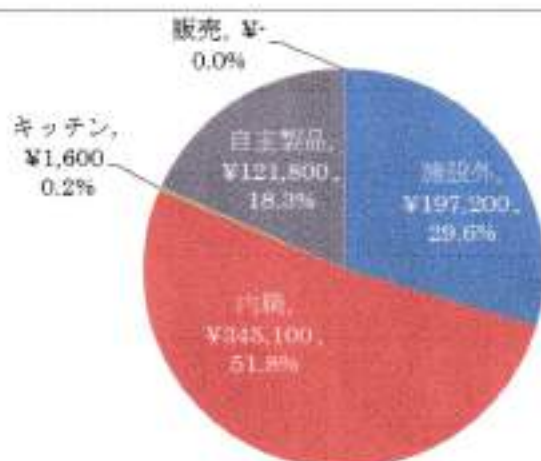
## 2. 年間入所(利用)者(児)数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (平均)
実利用人数	14	10	9	9	9	10	10	8	8	9	8	9	113
利用者平均	6.4	4.7	4.9	4.9	5.1	4.6	4.8	4.6	4.4	4.9	4.4	4.8	4.9
入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者数	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	6

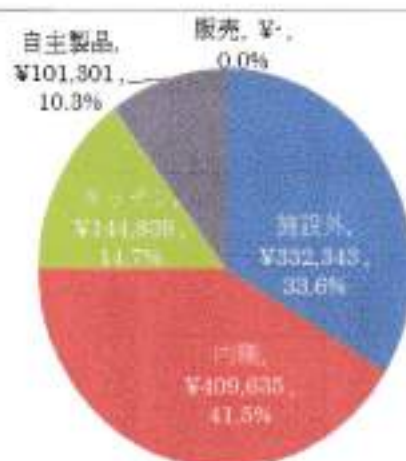
## 3. 就労支援事業内訳

月額			時間額	
工賃支払 対象者延人数	年間工賃 支払総額	工賃平均額	工賃支払 対象者延人数	工賃平均額
113人	861,500円	7,624円	4502人	191.3円

## 工賃内訳



## 収入内訳





#### 4. 年間行事実施内容

・レクでは蒲郡オレンジパークにてみかん狩りを行い、昼食にはラグーナにて海産物を堪能した。12月のマリノでの忘年会、2月にはボウリング大会を行った。また、年間予定にはなかったが12月、3月に小久井農場様より寄付していただいたお米で食事会ならびにゲームなどの催しを行い、利用者間の交流を深めた。

#### 5. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

・年間行事に従い予定通り進めることができた。また、平成31年度の法人内研修では、利用者70名。1コマ300円工賃とお弁当支給している同市の大型B型事業所のプロサポートへ見学に行った。

#### 6. その他(建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等)

特になし

お花見(岡崎公園)



みかん狩り(オレンジパーク)



おにぎりパーティー&お楽しみ会



初詣(一畑山薬師寺)



# 平成31年度事業報告書

社会福祉施設 あちーぶ

## 1. 総括

平成31年度は常勤の相談支援専門員2名（内1人は管理者兼務）、非常勤の相談支援員1名の3人体制でスタートした。10月に福祉現場の経験者が常勤の相談支援員として加わったが、11月、12月と立て続けに2名が体調不良により退職となった為、業務負担が増加した。しかし、残った職員で協力しあい、当年度の委託相談を継続することが出来た。

計画相談については、毎月8～9件のサービス等利用計画を作成した。単なる受給者証更新の為と捉えず、利用者様のその時その時の状況把握・ニーズの確認を行い、助言・提案を行った。新規サービスの利用希望等には可能な限り迅速に対応することに努めた。

また、昨年度に引き続きあちーぶの職員が岡崎市自立支援協議会の委員として出席した。就労支援専門部会では、日中活動系サービスと一般就労の併用ケースの事例検討等の議題に対し、相談員の立場から意見を伝えた。個別支援専門部会では、強度行動障がい児者の支援等について議論した。サービス事業所の対応の負担に比して、区分が低く出ている方がいるのではという意見が上がり、障がい区分認定調査においてより正確な区分判定を行う為の仕組み作り等（利用事業所に記入してもらう事前情報シート・運用マニュアル）について検討した。加えて、当年度はこども発達支援専門部会の事務局を担当した。岡崎市障がい者基幹相談支援センターのフォローを頂きながら、事前資料の作成、案内送信、進行表・議事録の作成等を行い、円滑な議事進行が出来るよう努めた。

当年度の困難事例は、他害により利用できる施設が年々減っている強度行動障がいの方のケース、外国籍の全盲の方のケース、不登校のケース等があった。本人・家族・関係機関等（病院・学校・他事業所等）と担当者会議を重ね、支援の方向性の共有や役割分担の明確化を図りながら進めている。市の委託業務の一つである障がい者区分認定調査は、毎月1～3件を請け負うことができた。

地域との関わりとしては、年2回の長瀬環境保全活動団体のゴミ拾いに参加した。また、平成30年度の前年祭に引き続き『やはぎ飛鳥まつり』の本祭に関わり、地域活性化への協力に加え、あちーぶの相談支援事業の周知を行うことが出来た。当年度末に、次年度西部地域の委託相談を受ける「福祉の村」に委託のケース引き継ぎを行った。来年度は委託業務が無くなる分、1つ1つの個別ケースの課題解決に注力し、細やかな対応を心がけていきたい。

## 2. 年間相談者データ

### (1) 年間契約者（利用）者（児）数

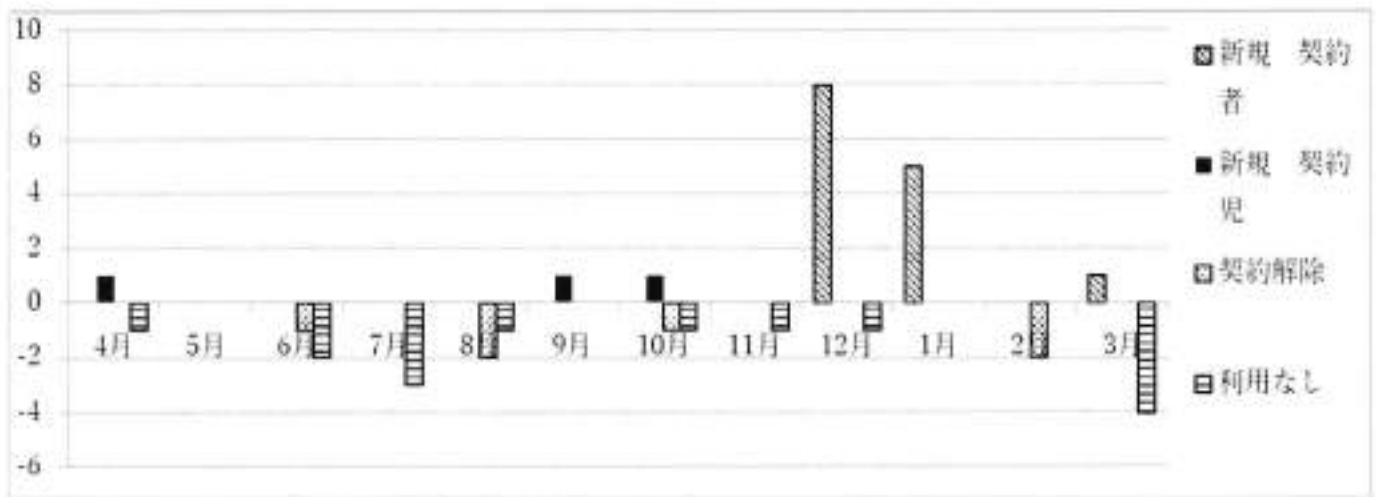
(人)

種別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (平均)
新規 契約者		0	0	0	0	0	0	0	0	8	5	0	1	14(1.16)
新規 契約児		1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3(0.25)
契約解除※1 (ケース移管等)		0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	2	0	6(0.5)
利用なし※2		1	0	2	3	1	0	1	1	1	0	0	4	14(1.16)

※1：契約解除6件のうち、5件は利用サービス事業所と同じ法人の相談支援事業所に移管したケース、1件は本人死亡のケースである。

※2：長期入院、サービスニーズの消失、一般就労、学校卒業等の理由で、計画相談が終了となったケースである。（基本相談のみとなる）





障がい者については、新規計画相談に繋がる利用者は11月までいなかった。あちーぶの委託担当地域にある指定特定相談支援事業所の縮小により、急遽ケース移管があった為、12～1月は契約者増となった。

障がい児については、放課後等デイサービス利用の相談が12～3月まで相次いだが、空きがなく、キャンセル待ちをしたり、最終的に利用を諦め、民間の預かり施設を選択される等、計画相談に繋がらないケースが複数あった。

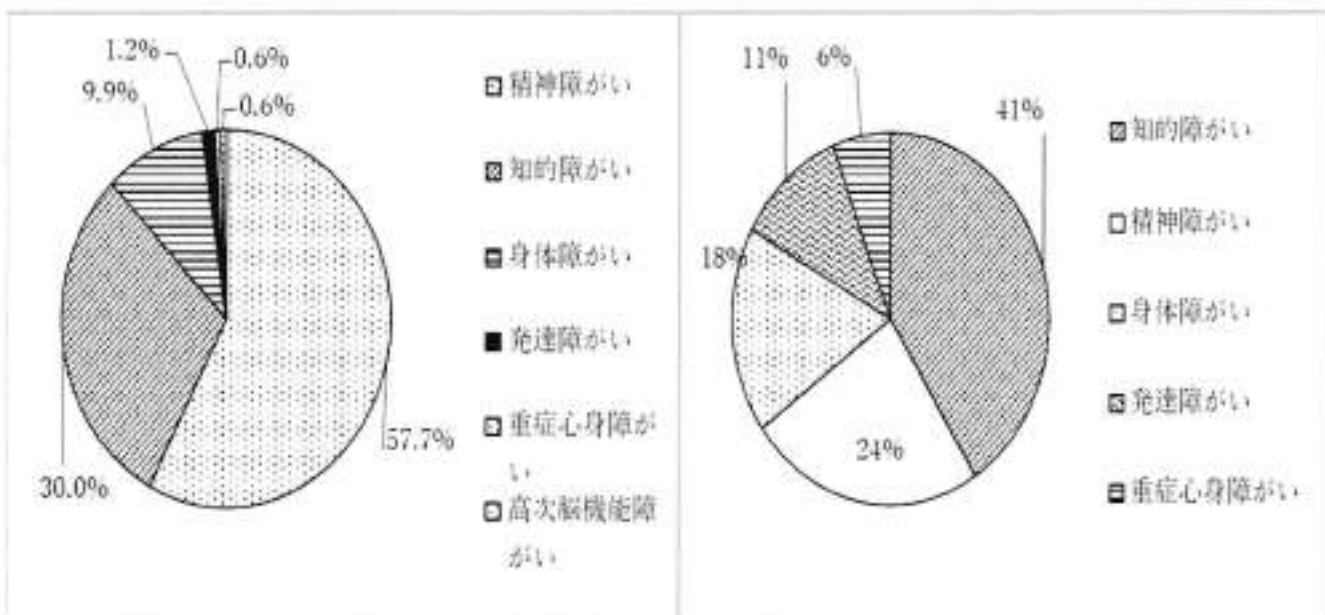
者も児も契約解除に至る経緯は、利用しているサービス事業所と同じ法人の相談支援事業所に計画もお願いしたいという経緯だった。一方で、通所やヘルパー事業所と相談支援事業所の大本が一緒だと、相談しづらい時もあるので、あちーぶを継続したいというお声も頂いた。

## (2) 相談利用者（人）について

障がい者については、精神＞知的＞身体 の順となるのは例年通りである。障がい児については、知的＞精神＞身体＞発達 となっており、発達障がいの診断を受けていた方が手帳を取得したことで、前年度より発達障がいの割合が低くなっている。未就学児は三河青い鳥医療療育センターやこども発達支援センター等に相談し、小学校進学タイミングで放課後等デイサービスの利用についてあちーぶに相談するのが最も多いパターンである。

<障がい者>

<障がい児>



### (3) 支援方法について

電話による相談が半数以上、訪問、関係機関、来所相談と続く。時間外は管理者が法人携帯を所持し、着信があれば対応することで、電話相談の24時間体制は維持できている。夜間の電話が頻回になりやすい方については、日中に訪問や電話を細目にする等して、不穏にならないように努めたり、24時間体制の訪問看護ステーションの利用を提案する等工夫をしている。

### (4) サービス等利用計画相談作成

毎月8～9件程の計画を作成している。

	障がい者	障がい児	計
件数	89	16	105

※ 平成31年4月～令和2年3月に作成した本計画を集計。3年更新の方はモニタリングのみで更新となる為、障がい者の件数が前年度より減少している。

## 3. 職員研修等

職員研修は「愛知県相談支援従事者初任者研修」「愛知県精神障がい者支援の特性と技法を学ぶ研修」「岡崎市成年後見支援センター主催 成年後見制度勉強会」等に参加した。「初任者研修フォローアップ研修」においては、こちら側が学ばせて頂くだけではなく、平成30年度に引き続き岡崎市の社会資源について他事業所の相談員に伝える機会を頂いた。法人内研修は、他法人の就労継続支援B型事業所の見学を行った。他事業所の工夫を学び、自事業所の強みも把握できた。当年度は精神保健福祉士の資格を取得した職員もあり、来年度も研修や資格取得を通じて職員のスキルアップを図っていく。

# 平成31年度事業報告書

社会福祉施設 彩

## 1. 総括

平成31年度は月の利用者平均が5.9名で、昨年度の6.8名から減少した。病院等の勧めで通所の福祉サービスを初めて利用する方2名が3ヵ月で退所したり、体調不良から在宅、入院する方も3名見えた。入所に関しては、彩から一般就労に移行されていた方が離職を理由に再度入所された方が1名。それ以外は新しい入所者がいなかった。今年度は同市内の就労継続支援B型も多数増えたこともあり見学もなく、利用者獲得までには至らなかった。

また職員不足のため、8月から彩がワークスへ合流し、同じ建物で作業を行っている。それぞれの特性はそのまま継続したいとの思いもあり、作業や職員も変わりなく取り組むことができた。お互い交流を深めることができレクリエーションの参加率が例年より高くなった。

自主製品のクッションでは他施設も複数販売している中、値段の安さと彩のメンバーが自ら購入することも多く安定した売れ行きとなっている。同じ自主製品のしめ縄講座では固定受講者もでき、『社会福祉法人せきれい彩』をより多くの方に知っていただき公共公益活動に繋げることができた。今後も拡大していきたい。

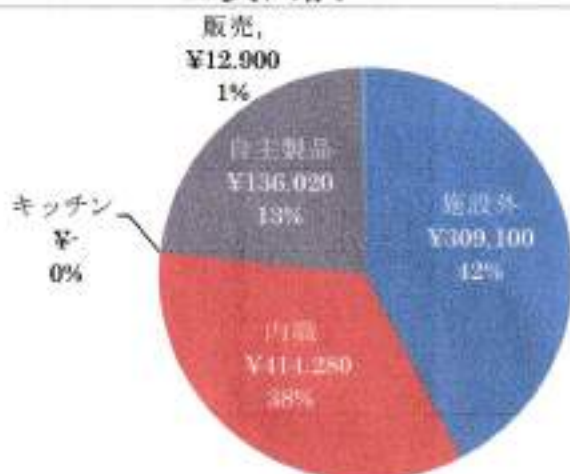
## 2. 年間入所(利用者)数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (平均)
実利用人数	12	12	12	10	10	9	9	10	9	10	9	9	121
利用者平均	7.4	7.1	7.2	5.7	6.0	5.6	5.3	5.4	5.3	5.4	5.2	5.6	5.9
入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
退所者数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	4

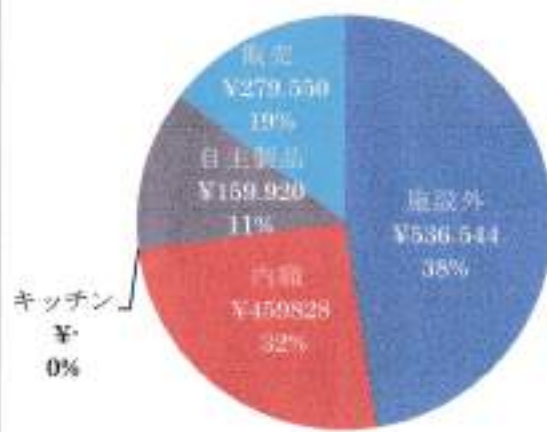
## 3. 就労支援事業内訳

工賃支払 対象者延人数	月額		時間額	
	年間工賃 支払総額	工賃平均額	工賃支払 対象者延人数	工賃平均額
121人	958,700円	7,923円	5,577人	171.9円

### 工賃内訳



### 収入内訳





#### 4. 年間行事実施内容

・11月のレクでは蒲郡のオレンジパークにてみかん狩りが行われた。12月にはマリノでイタリアンを満喫し、1月は一畑山薬師寺に初詣、2月には景品を多数用意し、恒例のボーリング大会行い盛り上がった。他にも施設内でのゲームと食事をし、楽しい時間を過ごすことができた。

・その他公益的な活動として岡崎市の西部地域福祉センターと、岡崎市井田学区ボランティア団体の2カ所でのしめ縄作り講座を設け、好評であった。

・バザーも例年とほとんど変わりなく参加することができた。（3月のコロナ対策で中止になったイベント以外）

#### 5. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

・年間行事に従い予定通り進めることができた。

#### 6. その他（建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等）

・なし。

おにぎりパーティー（おにぎり、唐揚げ）



Xmasコンサートバザー（りぶら）



ボーリング大会（グランドボール）



みかん狩り（オレンジパーク）

